

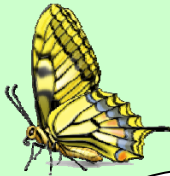
本時の流れ (第1時)

○ チョウの学習をもとに、アリを観察し「こん虫」の共通点を知る。

課題の把握

本時の詳細はこちら

CLICK



【課題】

チョウはこん虫です。体が「頭」「むね」「はら」に分かれていて、むねには6本の足があります。

アリはこん虫ですか？ちがいますか？

チョウとアリを比べてみよう。

【課題の把握】

☆ チョウの学習を振り返り、昆虫を「分類する指標」を示す。その分類指標を「よりどころ」として、アリ等を観察し、それに当てはまるかどうかを確認する。

概念の提示

ワークシートはこちら

CLICK

(提示) チョウは昆虫です。昆虫は・・・。

【学習の振り返りと概念の提示】

☆ チョウの学習を振り返り、「体が頭、胸、腹に分かれていること」「胸には6本の足があること」を確認し、それが昆虫を分類する指標となることを提示する。

観察の視点の確認



【観察の視点の確認】

☆ チョウの学習の振り返りをもとに、アリの観察を行うという設定をし、異なる種の観察に対して、観察の視点を明らかにし、どこを中心に観察すればよいかということを確認する。

観察

(指示) アリを観察して確かめましょう。

【観察】

☆ 充分時間をかけて観察し、観察の視点を中心に、分かったこと、気付いたこと、不思議に思ったことをワークシートに記入する。また、どこをどのように観察して判断したのかという根拠を丁寧に記録させる。

学習のまとめ



(指示) 観察結果をまとめましょう。

【学習のまとめ】

☆ 「アリも昆虫である」ということを、はじめに提示した分類指標に当てはめ確認する。
☆ 児童の感想から「他のものはどうなっているか調べたい」というものがあれば、それを取り上げて次時の「ねらい」と関連付け、児童の主体的な学習につなげる。

